

第4章

佐賀県の文化
【No.1】

佐賀県の祭り

県内各地に古くから受け継がれてきた祭りや芸能がたくさんあります。先人たちの暮らしを物語る貴重な文化財です。地域の人たちによって守られてきました。

□佐賀県に息づく国の重要無形民俗文化財 —

武雄の荒踊

○場所／武雄市東川登町宇土手、西川登町高瀬、朝日町中野
○開催日／9月秋分の日頃

1530(享禄3)年、戦勝祝いに即興的に踊ったのが始まりという説があります。頭に鉢巻き、腰には前垂れを付け、脇に太刀を差したモッショ(猛将、模範匠)とカキ(垣)と呼ばれる踊り手が譜い手の唄にあわせて、力強く軽快に踊ります。

躍動感がある
宇土手の
荒踊

力強い
高瀬の
荒踊



(佐賀県文化課 提供)



(佐賀県文化課 提供)

しなやかな
中野の
荒踊



(佐賀県文化課 提供)

唐津くんちの曳山行事／ 2016(平成28)年 ユネスコ無形文化遺産登録

○場所／唐津市唐津駅北側の東西の商店街を中心に巡行
○開催日／11月2日宵山、3日お旅所神幸、4日町廻り

唐津神社の秋祭り。1819(文政2)年に作られた刀町の赤獅子から1876(明治9)年に作られた江川町の七宝丸までの合計14台の豪華な曳山が、各町の曳子達に曳かれ町を巡ります。



刀町の赤獅子
(佐賀県観光連盟 提供)



竹崎観世音寺修正会鬼祭

○場所／藤津郡太良町竹崎
○開催日／1月2日、3日

沖に住む鬼と観音堂の箱に納められた鬼が再会すると竹崎島が転覆するという伝説があります。それを阻止しようともみ合う荒々しい裸祭りです。

※現在、裸祭は行われていません。

(太良町企画商工課 提供)

ポイント
花笠をかぶるのは他の田楽にない特色です。

白鬚神社の田楽

○場所／佐賀市久保泉町川久保
○開催日／10月18日、19日

県内に唯一残っている田楽。化粧をして美しく女装した少年や幼児などを中心に演じるため「稚児田楽」とも呼ばれています。



(佐賀県文化課 提供)



見島のカセドリ

○場所／佐賀市蓮池町見島
○開催日／2月第2土曜

藁葺や笠をかぶり神様の使い「カセドリ」に扮した若者2人が各家を巡って悪霊を祓います。



(佐賀市文化課 提供)



呼子の大綱引き

○場所／唐津市呼子町呼子
○開催日／6月第1土曜・日曜

岡組と浜組に分かれて3本勝負で大綱を引き合う勇壮な祭り。岡組が勝てば豊作、浜組が勝てば大漁と言われています。

(呼子市民センター産業課 提供)

見どころスポット

唐津市呼子大綱引会館

住所：唐津市呼子町呼子 3128-1
電話：0955-53-7165
(唐津市呼子市民センター産業課)
開館時間：9時～17時
休館：年末年始
料金：無料



調べてみよう!

自分が住んでいる地域には、どんな祭りがあるのかな?



各地の国重要無形民俗文化財、県重要無形民俗文化財



国指定

- ① 武雄の荒踊／武雄市東川登町宇土手 正一位神社、西川登町高瀬 松尾神社、朝日町中野 磐井神社
- ② 唐津くんちの曳山行事／唐津市唐津駅北側の東西の商店街を中心に巡回
- ③ 竹崎観世音寺修正会鬼祭／藤津郡太良町大浦竹崎 竹崎観世音寺
- ④ 白鬚神社の田楽／佐賀市久保町川久保 白鬚神社
- ⑤ 見島のカセドリ／佐賀市蓮池町見島 熊野神社
- ⑥ 呼子の大綱引き／唐津市呼子町呼子 三神社前

県指定

- ⑦ 仁比山神社の御田舞／神埼市仁比山町 仁比山神社
- ⑧ 四阿屋神社の御田舞／鳥栖市牛原町 四阿屋神社
- ⑨ 脇野の大念仏／伊万里市東山代町脇野 青幡神社
- ⑩ 音成の面浮立／鹿島市七浦音成 天子神社
- ⑪ 両岩の小浮立／嬉野市嬉野町吉田両岩 両岩神社
- ⑫ 三重の獅子舞／佐賀市諸富町為三重 新北神社
- ⑬ 市川の天衝舞浮立／佐賀市富士町市川 諏訪神社
- ⑭ 太神楽／神埼市神埼町神埼 櫛田神社
- ⑮ かんご踊／武雄市山内町鳥海船原 八幡神社
- ⑯ 府招浮立／伊万里市南波多町府招 権現社
- ⑰ 竹崎鬼祭の童子舞／藤津郡太良町大浦竹崎 竹崎観世音寺
- ⑱ 高志狂言／神埼市千代田町下坂高志 高志神社
- ⑲ 川原狂言／藤津郡太良町上多良上川原
- ⑳ 米多浮立／三養基郡上峰町前年上米多 老松神社
- ㉑ 広瀬浮立／唐津市厳木町広瀬 天山神社
- ㉒ 母ヶ浦の面浮立／鹿島市音成母ヶ浦 鎮守神社
- ㉓ 真手野の舞浮立／武雄市武内町真手野東真手野 竹内神社
- ㉔ 多久龍廟祓祭／多久市多久町東原 多久聖廟
- ㉕ 綾部八幡神社の旗上げ神事／旗下ろし神事／三養基郡みやき町原古賀 綾部八幡神社
- ㉖ 琴路神社の神幸祭行事／鹿島市納富分 琴路神社

佐賀県の方言は、佐賀藩の地域で使われた「佐賀方言（東部・西部）」、唐津藩と幕領で使われた「唐津方言」、対馬藩の飛び地で使われた「田代方言」に大別されます。

現在では、これらの方言もしだいに失われつつあります。

□佐賀県の方言区画



(福山裕著「佐賀弁一万語」を参考に作成)

佐賀方言

鳥栖市西部、みやき町、上峰町、吉野ヶ里町、神崎市、佐賀市、小城市、多久市、江北町、大町町、白石町、武雄市、有田町、伊万里市の一部、嬉野市、鹿島市、太良町、佐賀藩だった諫早市、飛び地だった長崎市の深堀町、雲仙市国見町神代などで使われていました。

佐賀方言は、さらに小城市から東では佐賀東部方言、多久市、江北町、白石町から西は佐賀西部方言に分けられます。

唐津方言

唐津藩や幕領だった唐津市、および伊万里市波多津地区、黒川地区、大川地区の方言です。

田代方言

対馬藩の飛び地だった三養基郡基山町や鳥栖市東部、鳥栖市を流れる番所川の東側の方言です。

□県内の方言の特徴

佐賀方言の特徴

○こそあど言葉

標準語	佐賀方言	唐津方言・田代方言
こんな	こがん	こやん、こぎやん
そんな	そがん	そやん、そぎやん
あんな	あがん	あやん、あぎやん
どんな	どがん	どやん、どぎやん

(出典/志津田藤四郎著「佐賀の方言(下巻・総説編)」)

○動詞の語尾の「る」は、佐賀東部方言では詰まる音になり、佐賀西部の有明海に近いところ(白町、小城市芦刈町など)の方言では詰まる音になるものと長音化するものがあります。

標準語	佐賀東部方言	佐賀西部方言(有明海に近い所)
来る	くつ	くつ
する	すつ	すつ
食べる	たぶつ	たぶつ
ある	あつ	あー；あつ
起きる	おきつ	おきー；おきつ
取る	とつ	とー；とつ
困る	こまつ	こまー；こまつ

(志津田藤四郎著「佐賀の方言(下巻・総説編)」を参考に作成)

■佐賀県の方言には古語が残っています。

平安～室町時代に使われていた言葉が残っています。

くちなわ(へび)、とぜんなか(何もすることがなく、さびしい)、すらごと(虚言)、ほけ(湯気)、せっちゃん(トイレ)、ひだるか(空腹)、ねまー・ねまつ(腐る)など。

■佐賀独特の「漢語方言」があります。

佐賀藩の武士が学んだ漢語が庶民に広まり、話し言葉として使われるようになったといわれています。

しっきやあ(悉皆=全部)、べんぶ(偏類=類)、てんなう(点合=許可を得る)、おうかん(往還=表通り)、あつぼう(厚風=華麗な)、ばっさい(伯耆=伯父・伯母)など。

標準語
一例 あんなに しないといけないのか

佐賀東部方言
あがん せんば でけんとかのっ

佐賀西部方言
あがん せんば でけんとかのー

唐津方言・田代方言
あやん(あぎやん) せにやー ならんつかい



(出典/志津田藤四郎著「佐賀の方言(下巻・総説編)」)

○佐賀方言によく見られる長音化した言葉

きゅー(=今日)、やーらしか(=愛らしい)、しゃー(=菜、おかず)、ちゃー(=鯛)、きゃー(=貝)、じゃーこん(=大根)、ひやー(=鯛)、しーか(酸っぱい)

「きゅーのしゃーは、ちゃーとじゃーこんよ」は「今日のおかずは鯛と大根だよ」という意味よ。



調べてみよう!

自分が住んでいる地域の方言を調べてみよう!



第4章
佐賀県の文化
【No.3】

佐賀県には、書、絵画、染色など、さまざまな分野の芸術品が残されています。素晴らしい作品に触れ、作者の想いや表現方法を感じてみましょう。

明治の二大書家・中林梧竹と副島種臣



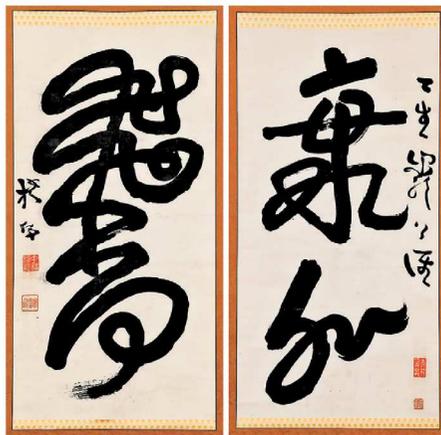
(小城市立中林梧竹記念館 提供)

中林梧竹
(現在の小城市出身)

1827(文政10)年～
1913(大正2)年

海外飛香

82歳のときの作品。「海」の字の「氵」を「水」で表しています。



(小城市立中林梧竹記念館 蔵)



(小城市立中林梧竹記念館 蔵)

鎮國之山銅碑拓本

梧竹は72歳のとき、富士山の山頂に「鎮國之山」の銅碑を建立。その文字を紙に写しとった銅碑の拓本です。

ポイント
梧竹は、「毎日バケツ一杯の墨がなくなるまで書いた」というエピソードが残るほど練習に励みました。



(小城市教育委員会 提供)

天山にある鎮國之山銅碑

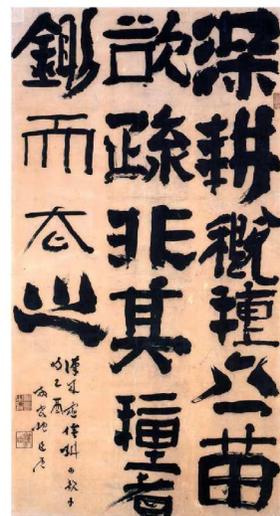
富士山にある「鎮國之山」の銅碑と同じものが天山8合目にもあります。



(佐賀県立佐賀城本丸歴史館 提供)

副島種臣
(現在の佐賀市出身)

1828(文政11)年～
1905(明治38)年
号(書の制作で用いる名前)は「蒼海」、または「一々学人」など。



ポイント
一画一画に心をこめた、力強い筆跡と自由な発想の書体が魅力です。

耕田歌

力いっぱい書き始めるのが種臣流で、2行目末は文字が入りきれず、極端に小さく書かれています。

(佐賀県立美術館 蔵)



(佐賀県立美術館 蔵)

帰雲飛雨

龍をイメージさせる、グルグルと巻いた独特の書体。

親交があった梧竹と種臣

歳が近かった二人は、互いに尊敬し合い、親交もありました。
高伝寺(佐賀市)にある種臣の墓標は、梧竹が書きました。



見どころスポット

小城市立中林梧竹記念館

住所：小城市小城市158-4
電話：0952-71-1132
開館時間：9時～17時
休館：毎週月曜日・祝日・年末年始
料金：200円
(大学生以下無料)



佐賀県の芸術

佐賀県の概要
第1章

佐賀県の歴史
第2章

佐賀県の人物
第3章

佐賀県の文化
第4章

佐賀県の自然
第5章

佐賀県の産業
第6章

佐賀県の食文化
第7章

□外国で最初に西洋画を学んだ百武兼行



(佐賀県立佐賀城本丸歴史館 提供)

百武兼行 (現在の佐賀市出身)

1842(天保13)年～
1884(明治17)年

もと11代藩主鍋島直大のお供として、3度もヨーロッパに行ったことで、西洋画を学ぶことができました。



鍋島直大像

直大がイタリア公使として赴任した際、随行した兼行がイタリア滞在中に描いた作品。

(公益財団法人 鍋島報効会 蔵)

□色彩の画家・岡田三郎助



(佐賀県立美術館 蔵)

岡田三郎助 (現在の佐賀市出身)

1869(明治2)年～
1939(昭和14)年

岡田三郎助は、幼い頃に見た百武兼行の絵に影響を受けて、西洋画の道に進みました。



(佐賀県立美術館 蔵)

少女読書

1924(大正13)年の作品。当時としてはおしゃれな髪型と洋服で、今でいう雑誌のグラビアページのような美人画。



(佐賀県立美術館 蔵)

薔薇

1931(昭和6)年の作品。大正末から昭和にかけて、岡田はバラの絵をたくさん描きました。

見どころスポット

佐賀県立博物館・佐賀県立美術館

岡田三郎助の常設展示「OKADA-ROOM」

岡田三郎助のアトリエ
(東京・渋谷に残されていた岡田三郎助のアトリエを佐賀に移築し、平成30年4月1日から公開)

電話:0952-24-3947
開館時間:9時30分～18時
休館:月曜日
年末年始

岡田三郎助アトリエ



□重要無形文化財「木版摺更紗」保持者 (通称「人間国宝」)の鈴木滋人さん

木版摺更紗とは？

木版と型紙を組み合わせた染色の技法。江戸時代、佐賀藩の献上品・贈答品として幕府や大名に贈られた「鍋島更紗」の技法をもとにしています。



染色作家 鈴木滋人さん (鹿島市)

一度途絶えた、鍋島更紗の復元に取り組んだ父・照次さんの後を継いで、木版摺更紗の研究と作品づくりに力を注いでいます。2008年に重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されました。



(鈴木滋人氏 提供)

漿果とは果実類のことで、作品はヨウシュヤマゴボウをモチーフにしています

木版摺更紗着物「漿果文」



(佐賀県立美術館 蔵)

鍋島更紗見本帖「さらさ屋兵衛門」 (佐賀県重要文化財)

江戸時代は、この見本帖から好みの模様を選んでもらっていました。

制作の工程

模様を彫った木版

※着物1枚分で、少なくとも2000回以上は木版を押します



●布に木版を押して、黒い線の模様をつけま



す。
●何枚もの型紙を使って、刷毛で色を摺り込んでいきます。



■使う色ごとに切り抜いた型紙

●最後にまた木版(上型)を押して、赤い線やうす墨などでアクセントをつける場合もあります。



鈴木さんが作品づくりで大切にしていることは？

生き生きとした表現を大切にしたいので、モチーフにしたい植物などの自然をよく観察してスケッチをします。その時の感動や発見をデザインに生かしています。

見どころスポット

染織資料館

住所: 鹿島市山浦甲1524
電話: 0954-63-4085
開館時間: 8時～17時
休館: 土・日・祝日
※来館前に電話連絡をお願いします



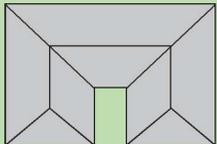
第4章
佐賀県の文化
【No.4】

佐賀県の伝統的な住宅

佐賀県の伝統的な住宅には、地域によって屋根を茅、葦、
麦藁で葺いた、形も独特な造りが見られます。

□佐賀県を代表する民家の造り

くど造り (屋根の形がコ型)

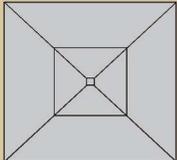


屋根の形が「くど」(かまど)に似ています。佐賀平野全域と県西南部一帯に多く分布しています。



川打家住宅 (多久市西多久町)
国重要文化財。18世紀前半に建築されたと推定され、屋根は茅葺でつくられています。

じょうご造り (屋根の形が口型)



上から屋根を見ると中央部分がへこんでいます。佐賀平野南部の、筑後川下流域に見られ、北は神崎市あたりまで分布しています。



山口家住宅 (佐賀市川副町)
国重要文化財。19世紀初頭に建築されたと推定されます。屋根は葦葺でつくられており、横幅約10.9m、奥行約10mと正方形に近い造りになっています。

— その他、国の重要文化財に指定されている住宅 —

- 山間部にある民家 吉村家住宅 (佐賀市富士町) 1789 (天明9)年に建築
- 農家風の大型町家 土井家住宅 (杵島郡大町町) 19世紀前半頃に建築
- 白壁塗りの町家 西岡家住宅 (嬉野市塩田町) 19世紀中頃に建築
- 炭鉱王・高取伊好の邸宅 旧高取家住宅 (唐津市北城内) 1904 (明治37)年に建築

見どころスポット

旧高取家住宅

住所：唐津市北城内 5 番 40 号
電話：0955-75-0289
開館時間：9時30分～17時
(入館は16時30分まで)
休館：月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
料金：一般(15歳以上)520円、
小・中学生 260円



調べて
みよう!

「くど造り」や
「じょうご造り」
について調べて
みよう。

